

# 平成 30 年度 第 2 回理事会議事録

日 時:平成 30 年 5 月 27 日(日)14 時 13 分～15 時 14 分

場 所:エキパル倉吉 多目的ホール

出席者:湯田範規、岡田早苗、藤原弘光、藤井和晃、西村令子、中井宏衛、那須野邦彦、佐々木崇雄、山根由美、先灘浩功、片岡憲一、吉岡明、青戸俊輔、山岡貴子、佐々木豪、石本学

[出席:16 名/20 名中]

欠席者:木下敬一郎、下廣寿、田中雅彦、北野岳之(外部監事)

議 長:湯田範規 書 記:先灘浩功

議事録署名人:那須野邦彦、石本学

一般社団法人鳥取県臨床検査技師会定款第 5 章第 29 条により理事会を招集し、定款第 5 章第 31 条により理事会が成立した。

## 議題 1 役員業務分掌について(提出:湯田会長)

- ・ 理事交代による体制変更の確認が行われた。この交代に伴いホームページの表記変更を行う。  
退任:野上理事 ⇒ 新理事:石本学理事(鳥取大学医学部附属病院)  
(学術部部長)旧:野上理事 ⇒ 新:佐々木崇雄理事  
(学術部副部長)旧:佐々木崇雄理事 ⇒ 新:石本理事、吉岡理事  
(平成 29・30 年度役員推薦委員・選挙管理委員)旧:石本学技師 ⇒ 新:佐藤明美技師(鳥取大学医学部附属病院)

## 議題2 各部門報告

### 学術部(藤原副会長)

- ・ 研修会の実施状況について説明がなされた。日臨技推進事業として申請した 4/21 開催の平成 30 年度第 1 回生理機能検査部門研修会と平成 30 年度第 1 回感染制御部門研修会については日臨技で承認され 5/31 に助成金振込予定。
- ・ 平成 30 年度第 1 回学術担当者会議について報告がなされた。4/21 に開催し担当者への追加連絡として下記の内容を担当者へメール配信した。
  1. 第 44 回鳥取県医学検査学会大綱が平成 30 年度第 1 回理事会で承認されたこと
  2. 研修会の会員向け案内文書を追加した事業予算書、事業計画書等の書式は鳥臨技 HP から DL 可能であること
  3. 検査研究部門運用規定第 11 条に部門会議を年 1 回以上開催することが規定されているので最低でも 1 回以上の開催をお願いしたい
  4. 7/22 開催予定のステップアップ研修会講師の選出に協力していただきたい
- ・ 中四国支部委員(平成 30・31 年度委員)について報告がなされた。

生物化学分析	福田賢一技師(鳥取赤十字病院)
臨床一般	宮永恵美子(鳥取大学医学部附属病院)
臨床血液	市川ひとみ(鳥取大学医学部附属病院)
臨床微生物	前田望(鳥取県立厚生病院)

輸血細胞治療	佐々木崇雄(鳥取県立中央病院)
病理細胞	遠藤由香利(鳥取大学医学部附属病院)
染色体・遺伝子	橋本祐樹(鳥取大学医学部附属病院)
臨床生理	黒田誠(鳥取県立中央病院)
臨床生理	小谷由香(鳥取県立厚生病院)
臨床生理	佐藤研吾(鳥取大学医学部保健学科)
臨床検査総合	木下敬一郎(鳥取赤十字病院)

- 役員任期に関する意見について

現在、中四国支部委員と各学術部門長の任期満了の時期がずれており、中四国支部委員と部門長が異なる場合、任期満了時にそれぞれが個人交渉を行う必要があり人選に苦慮しているのが現状である。任期を合わせていただけないかとの意見が中四国支部委員よりあった。今後、理事会で検討を行っていく。【検討】

- 平成 30 年度日本臨床検査技師会中四国支部医学検査学会学術特別企画講師及び承認・推薦依頼について

[承認依頼]

臨床微生物	シンポジウムⅡ司会	室田博美(鳥取大学医学部附属病院)
病理細胞	シンポジウムⅣ講師	大野千恵子(鳥取大学医学部附属病院)
輸血細胞治療	フォーラムⅢ司会	湯田範規(山陰労災病院)
臨床生理	超音波ハンズオンセミナー 講師	服部博明(済生会境港総合病院)

上記に関しては承認済みとした。【承認】

[推薦依頼]

学術企画 RCPC 解説 仲田夢人(鳥取大学医学部附属病院)【承認】

臨床一般 特別企画Ⅰ 保木本技師(鳥取赤十字病院)と福田技師(鳥取赤十字病院)に現在打診中。5/28 に選考報告予定。

- 医学検査学会進捗報告(吉岡理事)

託児スペース、託児業者は手配済。今後、広報を行い利用者の有無を確認する。

- ステップアップ研修会の血液部門講師について

日本検査血液学会と被っているためメーカーも対応が難しい状況。各理事が持ち帰り講師を探す。

- ニューリーダー研修会

佐々木崇、先灘、木下理事で検討し、具体的な計画が決まったら速やかに理事会に報告する。現時点では研修会を2月に予定。日臨技からの講師派遣は依頼しているので日程を早めに決定する。

- 初級・職能開発講習会(卒後10年未満を対象)

3年間の継続事業として各都道府県単位で1回開催することとなっている。講習内容はオリエンテーション、会長講話、基調講演(社会情勢など)2題、グループディスカッションで進める。(日臨技指定)

鳥取県は今年開催することとした【決定】

- 生理部門員退職について

生協病院 梶川技師(生理部門員)が5月いっぱいで退職することとなった。藤原副会長経由で欠員に対しての対応について生理部門に打診する。

平成 29 年度全国幹事会連絡会議報告(湯田会長)

1. 品質・精度管理に係る基準を定める根拠規定

日臨技精度管理事業を法律に準拠するために再構築を検討

2. 臨床検査の教育カリキュラム、臨地実習のあり方について検討が行っていく予定

3. 初級職能開発講習会を47都道府県単位で開催する。地域ニューリーダー育成事業として過去4年間に受講した都道府県代表者から1名を推薦し更にビルドアップした講習会を開催する。(3名の中で誰が行くのか検討しておく)

4. 日臨技と支部学術組織の再構成

支部学術部長、各部門長との連携を図り全国学会、支部学会、支部研修会の企画・運用について検討する。

5. 全国、支部学会における学会運用規定の再構築と各種認定(スキルアップ研修会)研修会の開催に向けた検討を行っていく予定。eラーニングは地方技師会にとって有用なツールである。技師会としてはeラーニングではできない体験型研修会を企画していきたい。

その他

・ ピペット配布施設の依頼(藤原副会長)

小さな施設にも登録してもらいたいので案内文を作成し状況把握を行うとともに手配に関して手続きが必要かどうかの確認を行う。

・ 什器備品について(岡田副会長)

現状ではWindows10対応のPCやワイド対応のプロジェクターがないため、今後購入の検討を行っていく。今年度必要な備品については次回理事会までにメールで申請する。来年度から購入計画を立てていくため各理事が調査を行い必要備品のリストアップを行う。

渉外調査部(那須野理事)

・ 行事日程の時間について

8/25 スポレク大会 13時～15時、懇親会 16時～18時、理事会開催を予定としていたが監事が出席出来ないため日程を変更する。予定として8/5(日)、場所は検討する。

・ 11/4 検査と健康展の開催時間変更について(那須野理事)

これまで10時-14時に行っていたが午後から開催してはどうかと下廣理事より打診があった。午後開催により危惧されることとして準備する際、人通りが多い時間帯になるため安全性に問題はないのか?との意見があったため、渉外調査部で検討して次回理事会で報告する。

以上をもって議事を全て終了し、15時14分に閉会した。

この議事が正確であることを証するため、議長および議事録署名人は次に署名、捺印する。

平成 30 年 6 月 14 日

議長 湯田 範規 (印)

監事 山岡 貴子 (印)

議事録署名人 那須野 邦彦 (印)

石本 学 (印)